E２本日の試合結果一覧

開催日 **2021/01/24**

2020-21 V.LEAGUE DIVISION1 WOMEN

試合番号	400	試合会場	サイデン化学アリーナ（さいたま市記念総合体育館）	観客数	0
開始時間	13:00	終了時間	14:19	試合時間	01:19
主審	浅井　唯由	副審	服部　篤史		

埼玉上尾メディックス	通算	9 勝 8 敗 ポイント： 28				ヴィクトリーナ姫路	通算	3 勝 14 敗 ポイント： 10
		3	25	第1セット	17	0		
			25	第２セット	18			
			25	第３セット	23			
				第４セット				
				第５セット				

監督コメント（埼玉上尾）

まず、今シーズン初の土日で連勝することができたこと、タフな試合を想定していましたが、ストレートで勝つことができて大変うれしく思います。
試合内容としては、2日間ともに自分たちから得点できずに、ラリーの中で相手が我慢できずに失点しているケースが多く、アタックでは課題が残った試合でした。
強化しているサーブに関しては、効果的な場面が多く出るようになり、ブレイクの中で大きな役割を果たせるようになってきました。
来週からもタフな試合が続きます。
引き続き応援よろしくお願いします。

監督コメント（ヴィクトリーナ姫路）

リモートでの応援ありがとうございました。
1セット目、取って取られての展開が続き、抜け出せるチャンスが充分にあったものの、オフェンスがうまく機能せず、ディフェンスまで我慢しきれなくなり、失点を重ねてしまいました。
途中から出た、金杉、孫田、長野たちが、オフェンスを活性化してくれ、流れを変えてくれたことは、彼女たちの練習の成果だと思います。
リーグも後半に入り、チーム内で競争しながら、もっともっとチーム力を高めて試合に挑みたいと思います。

要約レポート

２連勝を狙う埼玉上尾メディックスと、勝って順位を上げたいヴィクトリーナ姫路の一戦。
第１セット前半、埼玉上尾はジョセフと吉野が、姫路は貞包とアリョーナが打ち合い、一進一退の攻防が続く。後半は、内瀬戸の連続得点などで次第に埼玉上尾がリードを広げる。姫路は田中を投入し、セッターを堀込に代え応戦したが、埼玉上尾の吉野の強烈なアタックが決まり、埼玉上尾がセットを先取した。
第２セット、姫路の金杉がブロックやアタックを決め、埼玉上尾に食い下がる展開となるも、埼玉上尾は内瀬戸やジョセフの攻撃で得点を重ね連取した。
第３セット、埼玉上尾は内瀬戸や吉野の攻撃、山岸の好守などで終始リードする。中盤、姫路は金杉の活躍で点差を縮めたが、埼玉上尾は山口、青柳のアタックで引き離し、最後は吉野がアタックを決め勝利した。

試合番号	402	試合会場	黒部市総合体育センター	観客数	0
開始時間	12:00	終了時間	13:47	試合時間	01:47
主審	内藤　聡美	副審	増岡　三佳子		

KUROBEアクアフェアリーズ	通算	4 勝 13 敗 ポイント： 11				久光スプリングス	通算	7 勝 10 敗 ポイント： 24
		1	20	第１セット	25	3		
			25	第２セット	19			
			10	第３セット	25			
			18	第４セット	25			
				第５セット				

監督コメント（KUROBE）

ホーム最終戦、前回勝利している久光スプリングスとの対戦で何としても勝利したいゲームでした。１セット目の出だしは、サーブで崩し、リードしたものの、久光の高い攻撃にディフェンスが崩れ、自分達のリズムが作れず、先取されました。２セット目を取ったものの、３セット目以降は連続失点も多く、粘ることが出来ず敗戦となりました。
先週の２試合での反省点を修正し、次の試合の準備をしたいと思います。今後ともご声援よろしくお願いいたします。

監督コメント（久光）

昨日の敗戦から、ミーティングを行うことで意思統一を図り、チームとして一丸となって戦うことが出来た。苦しい状況では、我々にとって価値のある一勝となった。
１セット目から、我々のペースで展開することができたが、２セット目ミスからリズムを失ってしまった。しかし、３セット目以降しっかりと立て直してくれたことが結果へと繋がった。
今日の勝利を来週からのゲームに繋げられるよう準備していきたい。
画面越しにご声援くださったファンの皆様ありがとうございました。次戦もたくさんのご声援よろしくお願いします。

要約レポート

現在、リーグ戦順位７位の久光スプリングスと10位のKUROBEアクアフェアリーズとの対戦。前対戦では、フルセットの末にKUROBEが勝利している。今回、無観客ではあるが会場も同じく、再度勝利したいKUROBE。対する久光は、上位進出を狙う上で、これ以上取りこぼしは許されないところ。
第１セット、KUROBEがリーの５本のスパイクなどで７－２とリードするも、久光も井上、野本のスパイクで応戦し10－10と追いつく。接戦の展開のなか、久光が15－16から今村、アキンラデウォの連続ブロックなどで８連続得点しKUROBEを突き放し、このセットを先取した。
第２セット、序盤からKUROBEが粘り強いレシーブと舛田の６本のスパイク得点などで16－10とリードする。久光も野本のスパイクなどで応戦するもリードは埋まらず、最後も舛田がスパイクを決めてKUROBEがセットを取り返した。
第３セット、久光が３－２からアキンラデウォのブロックやスパイクポイントに、KUROBEのミスも重なり、８連続得点で一気にリードを広げる。その後も久光は今村などが着実にスパイクを決めリードを広げ、このセットを一方的に取った。
第４セット、久光が先行しKUROBEが２、３点差で追いすがる展開が続く。KUROBEの途中交代で入った浮島がスパイク、ブロックで活躍するも点差は縮まらない。21－18から久光はKUROBEの得点源であるリーのスパイクを井上がブロックで止め、最後は野本が連続でスパイクを決めるなど４連続得点してセットを取り勝利した。

試合番号		試合会場		観客数	
開始時間		終了時間		試合時間	
主審		副審			

	通算	－ 勝 － 敗 ポイント： －					通算	－ 勝 － 敗 ポイント： －
				第１セット				
				第２セット				
				第３セット				
				第４セット				
				第５セット				

監督コメント

要約レポート

試合番号		試合会場		観客数	
開始時間		終了時間		試合時間	
主審		副審			

	通算	－ 勝 － 敗 ポイント： －					通算	－ 勝 － 敗 ポイント： －
				第１セット				
				第２セット				
				第３セット				
				第４セット				
				第５セット				

監督コメント

要約レポート

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。